

「小中連携」授業公開・意見交換会

学校便りの6月号でお知らせしたように、今年度の本校の課題であった「小中連携の推進」の取り組みとして先日6月20日（木）に、小山ヶ丘小学校において授業公開と意見交流会を行いました。

授業公開後にアリーナに集まり、教科ごとに分かれて授業を参観した感想を交流したり、教科ごとの当日の授業のよい点や課題、生活態度など中学校との接続について話し合ったりして、これからの教育活動に大切にしたいことなどを共有しました。

〈主な感想や御意見〉

- ・グループでの話し合い活動で、意欲的に活動して、一人一人が意見を伝えることができていた。
- ・中学校ではなかなか読書の時間は取れない。小学校のうちから読書に親しむ活動を充実させていく必要を感じた。
- ・小学校6年生の算数の学習内容と、中学1年生の数学の学習内容が重なる部分がある。中学校での指導でも、6年生のうちどのように学んだか振り返らせていきたい。
- ・意欲的に学習活動に参加する児童が多く、自分の考えをしっかりともっている子が多く、素晴らしいと感じた
- ・小学校のうちに学ぶ理科の基礎的な知識を身に付けられるようにしてもらいたい。
- ・中学校の英語の授業でローマ字を書けない子がいる。中学生になるまでに身に付けられるよう指導してもらえると助かる。
- ・小山ヶ丘小学校から来た子どもたちは、教師と安心してコミュニケーションをとってくれるところがいいところ。
- ・総合的な学習の時間で地域のお茶畑を題材として扱っていて、価値があることだと感じた。考えをまとめる際などにクロムブックを活用しており、4年生でもこれだけできるのだと驚いた。

今回の活動をもとに、子どもたちの小学校から中学校への円滑な接続を目指し、小中連携での活動を充実させていけるように検討してまいります。

また、今回の活動を通して、私たち小山ヶ丘小学校の教師も、中学校への円滑な接続を目指せるように「授業改善をしていく必要がある。」と振り返ることができました。今後の指導に生かしてまいります。

